

教育と研究におけるフェミニスト方法論

～ 米国の様々な文献を読み、理解する ～

米国のヴァージニア工科大学からキャサリン・アレン(Katherine R. Allen)教授(社会学)を招いて、集中講義「教育と研究におけるフェミニスト方法論」を開講します。

講義はすべて英語で行われますので、米国式の英語で行う専門の講義を味わってみたいという学生にも貴重な機会です。また、必要に応じて生活社会科学講座の石井クンツ昌子教授が通訳をします。英語が不得手な方も是非履修してください。

アレン先生はフェミニスト理論を応用した家族社会学研究で大変著名な方です。特に、高齢者女性の家族と友人関係に関する著書と論文は世界的レベルで多くの学生、院生、研究者にも読まれています。また、欧米を中心にフェミニスト方法論を使った教育に関するワークショップも多数行っており、大変高い評価を得ています。

今回は本学の国際規格FD講演で来日されるにあたり、この集中講義も担当していただくことになりました。この貴重な機会に米国のフェミニスト教育法に触れていただきたいと思います。

多数の履修を期待します。

月日	時限	教室	タイトル
1月 7日(水)	9 - 12限	大学本館 212	フェミニスト方法論の定義
1月 8日(木)	9 - 12限	大学本館 212	フェミニスト教育論の比較
1月 9日(金)	9 - 12限	大学本館 212	フェミニスト教育論の実践
1月 13日(火)	9 - 12限	大学本館 212	フェミニスト教育論の応用
1月 14日(水)	9 - 12限	大学本館 212	フェミニスト視点の研究
1月 15日(木)	9 - 12限	大学本館 212	フェミニスト視点を応用した日本の家族研究
1月 16日(金)	9 - 12限	人間文化創成科学研究科棟 405	フェミニスト教育・研究の今後の課題
1月 19日(月)	17:00-18:30	共通講義棟 2号館 101	第三回 FD講演会

Teaching about Women and Their Families : Daring to Make a Difference
女性と家族について教えること ～生活・視点を変えることへの挑戦



■日程・教室・授業内容

WEB上のシラバスをみてください。

■履修登録

- 受講希望者は、12月8日(月)～12月11日(木)の集中講義登録期間内に、WEB履修登録を行ってください。科目名は「生活社会科学特殊講義」で、2単位です。
- 講義についての問い合わせはメールで受け付けます。
E-mail: ishii.kuntz.masako@ocha.ac.jp

Katherine R. Allen

Ph.D. Professor of Human Development